

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	友好都市交流推進事業		
事業担当	市民部 文化・交流課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'03	交流 ひと・文化の活発な交流が広がる環境をつくる	
	'02	2 地域の文化をお互いに理解し、活発な交流を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民・企業	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 市民・企業】		
	目的・目標		事業の概要
高山市、花巻市、伊豆市と平塚市の市民や企業との交流が活発に行われています。		文化やスポーツ、産業を発展させるため、友好都市等と幅広い交流を行います。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名	交流事業実施回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	13	15	13	15	
	実績	13	16	19		
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	交流事業参加者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	320	340	340	360	
	実績	428	421	509		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	：予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
花巻市と友好都市30周年記念式典を開催したほか、花巻市との魅力あふれる交流事業、イベントを計画どおり行いました。また、平塚市民が伊豆市を満喫する市民ツアーを初めて開催しました。						
平成26年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	産業、文化、スポーツ等を通じて交流することは、友好都市相互の産業発展や文化の醸成につながり、必要性は高いです。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	都市間交流を継続することは、豊かな人間性を育むうえで有効です。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	実施事業によっては、受益者負担の見直しを検討する必要があります。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	相互事業の市民ツアーについてより効率的な交流内容や経費の見直しを検討する必要があるとともに、友好都市合同事業で新規事業を企画する必要があります。	高中低
今後に向けた課題の分析				
交通運賃の値上げに伴い、市民ツアーの見直しをするとともに、市民が積極的に参加いただける交流事業の検討が必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		市民ツアー、野外体験、 観光物産展等の開催	市民ツアー、野外体験、 観光物産展等の開催	市民ツアー、野外体験、 観光物産展等の開催	市民ツアー、野外体験、 観光物産展等の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	2,204	1,804	2,106	2,229
事業費 (A)		2,204	1,804	2,106	2,229
執行率 (%)		94.47	73.33	89.69	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針	事業ごとに内容を精査し、より多くの市民が友好都市と交流が継続的に行えるように見直し、新規事業を検討します。
課長コメント	相互の産業の発展や文化の醸成、また豊かな心を育むため、友好都市交流の推進は必要と考えます。今後も魅力ある事業を展開し、多くの市民が交流事業等に参加いただけるよう努めます。